

# 令和7年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党	
事 業 名	自治体公共WEEK2025 講演会セミナー	
事 業 区 分	①研究研修	②調査

## 1 上田市での課題と研修・調査の目的

自治体公共WEEK2025 の開催に伴い、国の動向、地方自治体の先進事例を紹介するセミナーが開催される。今年度は現政権が打ち出した地方創生 2.0 の動向、若手首長のまちづくりなどの講演が行われ、当市の課題とともに全国の進捗状況を学び、市政への提案を行うために参加した。

## 2 実施概要

実施日時	視察先	東京都江東区有明 3-11-1
令和7年7月4日(金)	担当部局	東京ビックサイト
報 告 内 容	<p>1. 内容とスケジュール</p> <p>12:30~13:15 「地方創生2.0」が目指す地域の未来          内閣官房：新しい地方経済・生活環境創生本部事務局長 講師 海老原 諭 氏          地方創生がスタートして10年。この間、全国各地で地域の活性化につながる多くの好事例が生まれ、地方創生の成果が現れていますが、東京圏への一極集中や地方の人口減少などの課題は未だ残されています。石破総理の下、地方創生2.0として地方創生の新たなステージに踏み出した今、これまでの地方創生の取組を振り返りつつ、地方創生2.0の考え方などについて説明が行われた。</p> <p>事例紹介；伊那市 デジタルモバイル(本年 5月石破首相訪問)          ※役所で解決できることが少なくなっている。役所は地域のプレイヤーをつなぐ役割である</p> <p>ふるさと納税・・最近の傾向 返礼品無し 留学生の派遣。地域おこし協力隊・・活動終了後70%が地元定着。地域活性化企業人・・令和5年度800人となる。公共交通・・スクールバスをコミュニティバスに。ふるさと住民登録制度。地方創生2.0は利用区分をなくした使い勝手がよくなる。</p> <p>15:00~16:00          若手首長対談！地方の未来 若手首長が語る！地域活性化のカギと自治体が果たすべき役割          埼玉県 鳩山町長 小川 知也氏、京都府 八幡市長 川田 翔子氏、兵庫県 芦屋市長 高島 峻輔氏、コーディネーター 元 横須賀市長 / (一社) 熱意ある地方創生ベンチャー連合 代表理事 吉田 雄人氏</p> <p>地域課題への挑戦、行政DX、持続可能なまちづくりなど、各自治体の取り組みを紹介          高島市長 道路公園・街路樹維持管理に包括維持管理          川田市長 苦手は民間に、広報・公共施設再編          小川町長 幼稚園の官民連携          尚、セミナー模様は撮影禁止となっているので、写真添付は行っていません。</p>	

\* 視察先の写真等がある場合は添付のこと